

【第 1 号議案】

令和 2 年度 事業報告

本 部（法人）関 係

1 センター(あい丹後)を取り巻く状況等

当センターは、昭和 50 年 4 月の開館以来 46 年を迎え、ほぼ半世紀の歩みを刻もうとしており、視覚障害者の「豊かな生活」の実現を目指し、努力しているところです。

令和 2 年度につきましても福祉社会の充実に向けて、利用者やボランティアの協力、後援会の支援等も得ながら役職員が一丸となり運営してまいりました。

視覚障害者情報総合ネットワークシステム「サピエ」を活用した点字図書館業務の充実、ボランティア養成、同行援護事業の円滑な実施など利用しやすい環境づくりに努めてまいりました。

しかしながら、昨年発生しました新型コロナウイルスの影響により、多くの方に来場いただき、福祉に多くの方が目を向けていただく機会となる「あい丹後ふれあいまつり」の中止をはじめ、様々な事業計画に大きな支障をきたしました。

今後も、地域の方々に視覚障害やセンターを知ってもらうため、様々な工夫をするとともに、行政や地域をはじめとする多くの支援者の方々のお力を借りながら、利用者やボランティアの方々と共に、視覚障害者の自立と社会参加による福祉の向上を目指して一層取り組んでまいります。

2 評議員会、理事会、監査会の開催状況

(1) 評議員会

- ①第 1 回(社会福祉法第 45 条の 9 第 10 項において準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 194 条の規定(評議員会の決議の省略)に基づくみなし決議

△ 評議員会の決議があったものとみなされた事項の内容

- 1 平成 31 年度事業報告について
- 2 平成 31 年度事業決算について

△ 評議員会の決議があったものとみなされた日: 令和 2 年 5 月 29 日

- ②第 2 回 令和 2 年 11 月 26 日(木)

△ 議 長 井上 恵美

△ 議事録署名人 野村 哲郎 室田 邦枝

△ 出席評議員 13 名

△ 議 題

- 1 令和2年度事業(中間)報告及び令和2年度会計資金収支(中間)報告について

△ 報告事項

- 1 定款施行細則の一部改正について
- 2 就業規則の一部改正について
- 3 修繕工事の実施状況について

③第3回(社会福祉法第45条の9第10項において準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第194条の規定(評議員会の決議の省略)に基づくみなし決議

△ 評議員会の決議があったものとみなされた事項の内容

- 1 令和2年度資金収支補正予算について
- 2 令和3年度事業計画並びに予算について
- 3 施設長の選任について

△ 評議員会の決議があったものとみなされた日: 令和3年3月29日

△報告事項

- 1 苦情解決処理要領に規定の第三者委員の選任について

(2) 理事会

①第1回(社会福祉法第45条の14第9項において準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条の規定(理事会の決議の省略)に基づくみなし決議

△ 理事会の決議があったものとみなされた事項の内容

- 1 平成31年度事業報告について
- 2 平成31年度事業決算について

△ 理事会の決議があったものとみなされた日: 令和2年5月20日

②第2回 令和2年11月12日(木)

△ 議 長 藤原 健司

△ 出席理事 7名

△ 出席監事 2名

△ 議 題

- 1 令和2年度事業(中間)報告及び令和2年度会計資金収支計算(中間)報告について
- 2 定款施行細則の一部改正について
- 3 就業規則の改正について

- ③第3回(社会福祉法第45条の14第9項において準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条の規定(理事会の決議の省略)に基づくみなし決議

△ 理事会の決議があったものとみなされた事項の内容

- 1 令和2年度資金収支補正予算について
- 2 令和3年度事業計画並びに予算について
- 3 施設長の選任(評議員会への提案)について
- 4 苦情解決処理要領に規定の第三者委員の選任について

△ 理事会の決議があったものとみなされた日: 令和3年3月12日

(3) 監査会

令和3年5月11日 (決算監査)

3 施設の利用状況

区 分 年 度	会 議 ・ 研 修 ・ 他		学 校		合 計	
	回数	延人員	校数	延人員	件数	延人員
令和 2年度	209	766	0	0	209	766
平成31年度	270	1,874	2	36	272	1,910
差 引	△61	△1,108	△2	△36	△63	△1,144

4 相談事業

- (1) 日常生活用具等の相談(フレーストーク、拡大読書機、白杖、音声腕時計等)
- (2) 行政手続きなどの相談
- (3) 視覚障害者団体(グループ)などの事業実施に係る相談
- (4) 困り事・悩みなどの相談

◎相談員活動実績

市町	綾部市	福知山市	舞鶴市	宮津市	与謝野町	伊根町	京丹後市	計
対象者	4	17	21	4	6	1	16	69
訪問数	11	45	61	9	41	6	54	227

5 日常生活用具の斡旋と販売

視覚障害者の皆さんから要望される用具の斡旋や、所有している用品具の販売や器具の貸出、取り扱い指導などを行いました。

6 視覚障害者団体などとの連携

- (1) 公益社団法人京都府視覚障害者協会や地域視覚障害者団体との連携
理事会や評議員会などの主な会議及び事業の実施にあたっては、京都府視覚障害者協会との連携を図り、事前に協議するなど円滑な実施に努め、地域視覚障害者団体行事への参加や事業の実施についての協力を行いました。

今年度はコロナウイルス対応により、各種事業が中止されました。

- ◎総 会 京丹後支部 4月19日（中止）
- ◎集い等 京丹後支部 12月10日（中止）

(2) 京丹後市福祉サービス事業者協議会への参加

京丹後市の全ての市民の福祉の向上のため、市内の福祉サービス事業者の連携と協調を図ると共に福祉の拡充強化を図り、併せて地域福祉の向上と増進に寄与することを目的に、京丹後市の呼びかけで平成17年10月に設立された「障害者福祉部会」に所属し、月1回の定例会や講演会等に参加しました。

7 障害者福祉教育への協力

(1) 学校への講師の斡旋と派遣

点字体験：小学校1校、中学校1校

(2) やさしい点字体験教室

8月7日に実施し、参加者4名で行いました。

(3) 夏休み親子点字教室

8月6日に実施し、参加者6名で行いました。

8 消防・防災訓練と設備等の点検

(1) 消防・防災訓練 2回（消火・通報・避難訓練）

11月30日及び3月25日

(2) 設備の点検

- ①自主点検（職員実施）2回 ②業者設備点検 1回

9 顕 彰 （推薦を含む）

(1) センター顕彰規程による受賞者（感謝状）

○点訳奉仕者 上村 真寿美 氏（長岡京市）

同 荒川 節子 氏（宇治市）

同 井本 澄子 氏（京丹後市）

○音訳奉仕者 吉田 ひさ子 氏（京丹後市）

(2) 日本盲人社会福祉施設協議会（感謝状）

○点訳奉仕者 最上 公野 氏（京丹後市）

○音訳奉仕者 飯塚 ひかる 氏（与謝野町）

10 広報活動

- (1) 「図書館だより」の発行 年2回(9月、1月)
- (2) 「ボランティア通信」の発行 年6回(偶数月)
- (3) ホームページの運用
- (4) 行政機関等が発行する広報誌へ講習会等の開催広報
- (5) 後援会組織による活動

11 センター後援会への支援と協力

令和2年度もセンター事業の円滑な推進が図られるように、財政援助を中心に後援会への支援と協力を求め、一般助成金100万円と特別会員の会費として44万円の助成をいただき、一方、後援会活動を推進するため、組織強化(会員確保と勧誘)に協力しました。

12 施設管理

- (1) 建物の警備
大切な資産を守るため、引き続き、建物の警備(防犯、火災監視)を業務委託しました。
- (2) 建物の施設整備・保守管理
本館は、平成2年改築後、30年が経過し、風雨、季節風の直撃を受け、屋根や外壁などの維持管理が必要となります。今年度は、屋根防水・壁面防水工事を行いました。

Ⅱ 情報提供施設（点字図書館）関係

視覚障害者情報提供施設として、点字及び録音図書の製作・整備、図書の貸出・閲覧を行いました。平成22年4月から運用開始された視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」を活用し、視覚障害の方々がより利用しやすく、また、業務の効率化を図るため、データ化した点字図書及び録音図書の登録や点字による即時情報ネットワーク事業などを推進し、視覚障害者への情報提供に取り組んできました。

また、平成25年3月からはサピエと連携する「Web図書館システム」を導入し、図書管理業務の省力化を図っています。

1 図書館運営委員会の開催

今年度は、至急の案件がなかったこともあり、書面による意見の取りまとめのみを行い、対面での開催は見送りました。

2 音訳奉仕者資格認定審査委員会の開催

音訳奉仕者の資格認定について、審査を行い以下の者を認定しました。

北部認定 令和2年12月1日

南部認定 令和3年1月7日

音訳奉仕者認定者

氏 名	住所地	氏 名	住所地
下戸 まり子	京丹後市	林 和子	宇治市
三原 直美	京丹後市	石井 恵子	城陽市
村田 聡子	京丹後市	北川 恵美子	城陽市
奥田 康恵	舞鶴市	塩貝 ひろの	城陽市
阿部 ゑり	宇治市	高橋 尚子	城陽市
右近 淑子	宇治市	堀井 弥生	城陽市
金澤 重子	宇治市	森島 雅美	城陽市
久保田 弘子	宇治市		

3 図書の整備状況

点訳・音訳奉仕者及びCD図書製作奉仕者の協力と支援を得て図書製作、寄贈、購入により図書整備を図りました。

(1) 点字図書・録音図書の整備状況

区 分	31年度 末蔵書数	令和2年度の整備					2年度末 蔵書数
		目標	購入	製作	寄贈	合計	
点字図書(冊)	24,233	400	0	256	171	427	24,660
録音図書(巻)	29,449	20	0	0	23	23	29,472
CD図書(枚)	7,430	350	36	180	128	344	7,774

(2) 点字・CD雑誌の整備状況

区 分	雑 誌 名 (種 類)	製作数	読者数	備 考
月 刊	木の芽 (俳句雑誌)	12	30	CD
月 刊	三療の友(医学雑誌)※10月号で廃刊	7	25	CD
隔月刊	図書だより (図書紹介)	6	60	CD
			15	メール
			30	点字
季 刊	こちら熟年放送局 (生活情報一般)	4	10	CD
季 刊	てんてん小町 (総合情報誌)	4	40	点字
月 刊	広報京丹後お知らせ版(京丹後市から受託事業)	12	18	CD(デジジー)
			3	CD(一般)
月 刊	広報京丹後(京丹後市から受託事業) ※7月号から受託	9	18	CD(デジジー)
			5	CD(一般)

4 図書の貸出状況

(1) 点字図書・録音図書の貸出状況

<点字図書>

区分 年度	延タイトル数
31年度	680
2年度	731
前年度比較	51

<録音図書> テープ

区分 年度	延タイトル数
31年度	359
2年度	350
前年度比較	△9

<CD図書> デイジー

区分 年度	延タイトル数
31年度	7,662
2年度	8,572
前年度比較	910

(2) 「サピエ図書館」の点字・デージーデータダウン状況

年度	区分	点字図書	デージー図書	備考
		ダウン回数	ダウン回数	
31年度		4, 242	49, 700	デージー図書は、再生を含む。
2年度		3, 700	59, 302	
前年度比較		△542	9, 602	

5 「障害者の明るいくらし」促進事業

ノーマライゼーションの理念の実現に向けて、誰もが明るく暮らせる社会づくりを促進することを目的として、京都府から委託を受けて実施している事業です。

(1) 点字による即時情報ネットワーク事業（点字JBニュースの提供）

＜利用者＞

○重度視覚障害者 点字版 22人（内、京都ライトハウス分9人）

メール版 43人（内、京都ライトハウス分40人）

○公共図書館閲覧用 点字版35館（内、京都ライトハウス分18館）

なお、音声による情報提供システムにより点字JBニュースが聞けます。

全国共通電話番号（0570-021802）（有料：1分間約10円）

(2) 音訳奉仕者の養成と育成

①朗読奉仕員養成講習会

	開催日	場 所	受講者数	講師・テーマ
北部 (昼)	8月19日～ 10月14日 (6回)	あい丹後	3人	○講師 栗山由紀子 氏 (フリーアナウンサー) ＜テーマ＞ ・朗読の基礎知識及び発声 ・基礎の文章から応用文まで
北部 (夜)	8月27日～ 10月1日 (6回)	あい丹後	6人	
南部	10月28日～ 12月10日 (6回)	宇治市総合福祉 会館 (宇治市)	12人	

②音訳奉仕者デジタル録音(編集)及び育成研修会

	開催日	場 所	受講者	講師・テーマ
北部	12月16日	あい丹後	中止	○講師 野村音訳指導員 ＜テーマ＞ ・音訳技術の指導 ・ソフトでの校正 (記入・訂正)
	2月16日		中止	
南部	3月11日～ 3月13日	宇治市総合福祉 会館 (宇治市)	11人	

6 点訳講習会等

点訳ボランティア養成講習会《入門コース》

開 催 日	場 所	受講者	講師・テーマ
9月4日～ 10月2日（全5回）	あい丹後	6人	・初心者を対象とした点訳の初歩

点訳ボランティア養成講習会《基礎コース》

開 催 日	場 所	受講者	講師・テーマ
10月13日～ 2月16日（全7回）	あい丹後	4人	・点字図書制作のための点訳の基礎

7 研修会・全国大会等への参加

○サピエ Zoom研修会 1月27日

<参考> ボランティアの現況（令和3年3月末現在）

（人）

点 訳	音 訳	編 集	作 業	合 計	備 考
92	78	0	0	170	昨年度末157人

Ⅲ 同行援護事業関係

視覚障害者の外出の保障については、平成24年5月から障害者自立支援法による自立支援給付（障害福祉サービス）の指定同行援護事業所「丹後ガイドセンター」として「同行援護」＜①視覚的情報の支援（代筆・代読）②移動援護③排泄、食事等の介護＞の事業所指定を受け、京丹後市、宮津市、伊根町及び与謝野町の視覚障害者へこのサービスを提供しています。

令和2年度も視覚障害者の自立と社会活動への参加を促進し、福祉の増進を図るために関係行政機関等とも連携して、登録同行援護従業者の協力を得ながら、人権を尊重し、安心して安全な「同行援護」の提供に努めつつ、利用実績の確保に努めてきました。

また、サービスの質の向上やガイドヘルパーの確保のため、研修会等を開催すると共に、同行援護の支給決定に先立って「サービス等利用計画」の作成が必要な利用者のために、相談支援センターと連携して取り組みました。

1 同行援護事業の実施状況

(1) 利用者契約の状況と事業収入（各年度末現在）

区 分	31年度	2年度	比較増減
利 用 契 約 者 数（人）	42	44	2
ガイドヘルパー登録数（人）	34	35	1
事 業 収 入（千円）	10,696	8,679	△2,017

（注）事業収入は、個人負担分を含む。口座引落手数料は、事業所負担。

(2) ガイドヘルパー稼働状況

区 分	31年度	2年度	比較増減	備 考
回 数（回）	1,030	1,046	16	
活動時間(時間)	4,843	3,468	△1,375	

(3) 市町別利用の状況

（単位：件）

市 町 別	31年度	2年度	比較増減	備 考
京丹後市	906	686	△220	契約者32名
宮 津 市	58	61	3	3名
伊 根 町	0	0	0	2名
与謝野町	66	292	226	7名
合 計	1,030	1,039	9	44名

2 研修会等の開催

(1) 令和2年度の同行援護従業者研修会

実施日：令和2年11月19日（木）13：00～14：00

参加者：従事者10名、職員2名（施設長・サービス提供責任者）

会 場：丹後視力障害者福祉センター2階研修室

内 容：・京丹後市出前講座「正しく恐れる新型コロナウイルス感染症～ご存じですか 正しい予防～」

講師：京丹後市生活経済支援室

・質疑、応答

(2) 「同行援護従事者交流のつどい」

実施日：令和2年11月19日（木）14：00～15：00

参加者：従事者10名、職員1名（サービス提供責任者）

会 場：丹後視力障害者福祉センター2階研修室

内 容：・のっけて（福祉有償運送）送迎者講習会の案内と説明

・のっけて送迎者とガイド利用を合わせたサービス提供について

・質疑、応答